

2021年日本歯科医学会総会演題：パブリックコメント募集

2020年2月26日

一般社団法人日本口腔顔面痛学会 理事長 松香芳三
学術委員会担当理事 村岡 渡

日本歯科医学会が2021年（来年）の9月23日～25日の総会の演題を公募しており、当学会としてどのような演題を提案するか、学術委員会および理事会にて検討いたしました。

日本歯科医学会の趣意書では、「逆転の発想、歯科界2040年への挑戦」が大会テーマとなっており、以下の項目が募集されています。また、複数の学会での共同申請が推奨されています。

- ① 講演（60分）
- ② シンポジウム（120分）
- ③ 国際セッション（講演）60分
- ④ 国際セッション（シンポジウム）120分
- ⑤ テーブルクリニック 60分×3回（演者一人当たり）

その他、歯科衛生士、歯科技工士部門

当学会としましては、シンポジウム「抜髄・抜歯後の不快症状への対策」を複数学会からの共同申請として提案することを検討しています。

この案に対してのコメントや新たな別のご提案などを皆様から広く募集したいと考えております。ご意見がございましたら、以下のように学会事務局へご連絡いただけましたら幸いに存じます。

メールタイトルを以下のように記載してご連絡をお願い致します。

タイトル：「日本歯科医学会2021演題公募パブリックコメントについて」

宛先：日本口腔顔面痛学会事務局メールアドレス：jsop-service@onebridge.co.jp